

人材育成研修会及び和食文化絵手紙コンテスト卓上カレンダーの配布 事業実施主体:群馬県

群馬県



- 群馬県では、第4次ぐんま食育こころプランのもと、様々な関係者と連携して、健康寿命の延伸と幸せにつながる食育の推進に取り組んでいる。
- 生涯にわたる心身の健康や食文化を守るために、「スポーツ栄養のための人材育成事業」及び「地域食文化継承事業」を通して、バランスのよい食事である「日本型食生活」や「和食文化」の普及を図った。
- 群馬県庁に整備されている動画撮影スタジオを活用し、職員の手作業により、動画の撮影、編集等を行っている。また、動画は群馬県YouTube公式チャンネル「tsulunos」から配信している。

【取組の内容】

- Web配信による人材育成研修会の開催
 - ・配信期間: 令和3年12月1日～令和4年2月10日
 - ・対象者: 子ども(主に小学生・中学生)の指導者
 - ・講演テーマ: 「子どものたくましく生きる力を育むスポーツ栄養と食育」
 - ・講師: 高崎健康福祉大学 木村 典代 教授



講演の様子

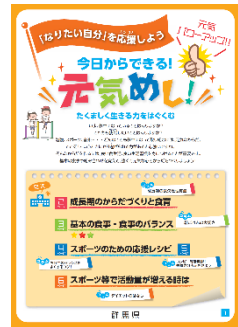
- 和食文化絵手紙コンテストの開催
 - ・テーマ: 未来に伝えたい「和食文化」
 - ・目的: 絵手紙の創作過程を通じ、栄養バランスに優れた食事として世界から注目されている「和食」への関心を高め、県民の健康増進につなげる。
 - ・募集期間: 令和3年12月13日～令和4年1月31日
 - ・応募対象: 県内に在住、在勤、在学の方
 - ・応募作品数: 603点(応募者数: 451名)
 - ・結果: 審査会を経て、最優秀賞1点、優秀賞4点、入選7点を選定、3月19日に授賞式を開催。
 - ・成果物: 入賞作品をデザインした卓上カレンダー及びポケットティッシュを作成、配布。



募集チラシ

【取組の成果】

- 広がり期待される人材育成研修会
 - ・257名の申込みがあり、閲覧数は458回と多くの参加が得られた。オンラインを活用することで、コロナ禍においても広く普及・推進が図れた。
 - ・令和2年度に作成した食育リーフレット「スポーツ栄養」の普及促進が図れた。
 - ・アンケートでは、95.1%が「参加しやすかった」、98.0%が「今後の活動の参考になる」と回答した。
- 今後の普及促進に活用できる和食文化絵手紙コンテスト
 - ・5歳から91歳まで、幅広い年代からの応募が得られ、日本型食生活を含む和食文化について、普及推進が図れた。
 - ・授賞式の様子は、28万部を発行する地元新聞に掲載され、県内外の読者に開催の目的を伝えることができた。
 - ・入賞作品をデザインした卓上カレンダーを1,500部、ポケットティッシュを8,000個作成した。カレンダーは令和5年の1月から12月とし、季節イメージに相應しい作品を配置した。さらに、日付部分を切り取ることで、和食文化絵手紙作品として長く飾れるように工夫した。
 - ・応募作品の展示や成果物の活用を通して、中長期的な普及促進が可能である。



リーフレット



成果物